

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	54
2. 大学等名	武蔵野大学
3. テーマ	IV. 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）
4. 取組学部等名	文学部、グローバル学部（平成28年度よりグローバル・コミュニケーション学部から改組）、法学部、経済学部、人間科学部、工学部、教育学部、看護学部 経営学部（令和元年度4月追加）、データサイエンス学部（令和元年度4月追加）
5. 事業期間	平成27年度～令和元年度（5年間）

8. 事業の概要（※400字以内）	（399文字）
<p>社会のパラダイム・シフトに対応する①自発自燃型人材、②グローバル人材、③地域貢献型人材を育成するため、全学的に4学期制を導入し、アクティブ・ラーニングの軸として、長期学外学修プログラム「武蔵野BASISフィールド・スタディーズ」（以下、MBFS）を教育課程に配置する。</p> <p>MBFSは、入学後すぐの第2学期を中心に、学生の能力や志向等に応じ、1～7か月間学外で学ぶプログラムである。さらに、2年次以降は、1年次での学びや能力を昇華させるため、メインメジャー及びサブメジャーによる、専門的な長期学外学修プログラムを配置する。これにより、体系的且つ実質的な教養と専門の連続した学びが実現する。</p> <p>なお、MBFSは、「地方創生支援活動」等、活動先への貢献を到達目標の一つに設定している取組が多い。活動先に根付いた特有の文化や産業を知る学びを通し、日本の文化や産業の継承、発展、雇用等をフォローする取組への昇華も目指す。</p>	